

# 平成29年 年末賞与の集計結果(事業所規模30人以上)

## 本県の状況

支給労働者1人平均支給額	46万6,339円	9.0%増加
支給事業所数割合	88.6%	0.5ポイント増加
平均支給率(支給月数)	1.26か月	0.08か月増加

### 1 支給労働者1人平均支給額

調査産業計における支給労働者1人平均支給額は46万6,339円で、前年比9.0%と3年ぶりに増加した。

産業別にみると、学術研究,専門・技術サービス業91万7,021円(同2.3%減少)が最も高く、以下、情報通信業89万8,307円、複合サービス事業87万8,547円、電気・ガス・熱供給・水道業84万6,265円、製造業67万9,806円だった。

### 2 支給事業所数割合

調査産業計における支給事業所の割合は88.6%で、前年の88.1%を0.5ポイント上回った。

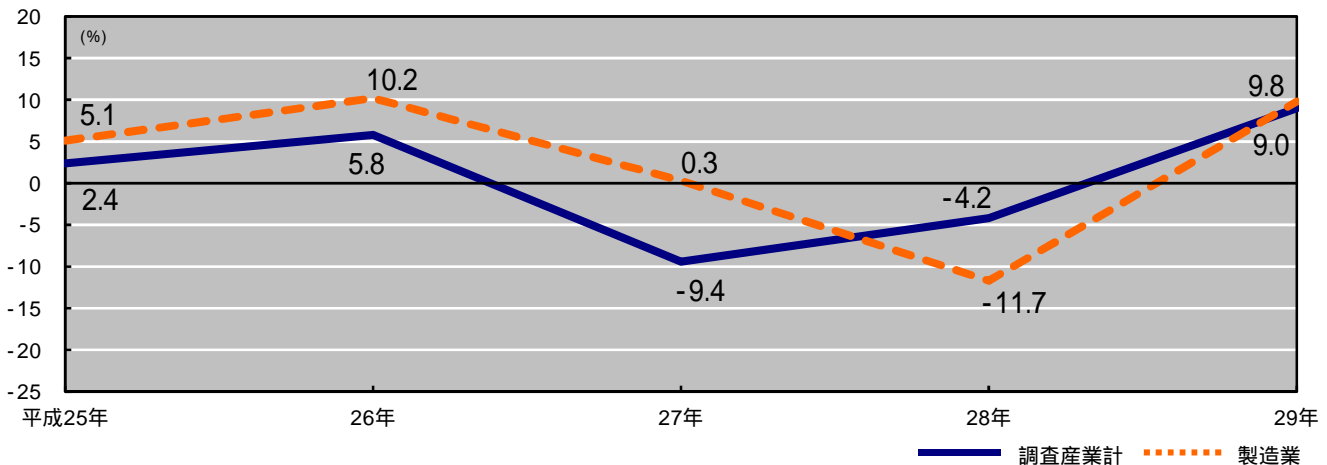
産業別にみると、調査対象の全事業所で年末賞与が支給されたのは金融業,保険業、生活関連サービス業,娯楽業の2業種だった。

### 3 平均支給率(支給月数)

調査産業計における平均支給率(所定内給与に対する支給割合)は1.26か月で、前年の1.18か月を0.08か月上回った。

産業別にみると、電気・ガス・熱供給・水道業2.49か月(同0.03か月減少)と最も高く、複合サービス事業2.12か月(同0.02か月減少)、学術研究,専門・技術サービス業2.02か月(同0.02か月減少)、教育,学習支援業1.95か月(同0.05か月増加)、情報通信業1.76か月(同水準)だった。

## 年末賞与(支給労働者1人平均支給額)の前年比の推移



## 年末賞与集計の説明

この結果は、毎月勤労統計調査地方調査の事業所規模30人以上の事業所について、平成29年11月分～平成30年1月分における「特別に支払われた給与」のうち、一般的に賞与、ボーナスなどと呼ばれる給与(以下「賞与」という。)を集計したものです。この利用についての留意点は、次のとおりです。

- 「支給労働者1人平均支給額」とは、賞与を支給した事業所の全常用労働者(当該事業所で賞与の支給を受けていない労働者も含む)についての1人平均賞与支給額です。
- 「支給事業所数割合」とは、賞与を支給した事業所の全事業所に占める割合です。
- 「支給労働者数割合」とは、常用労働者総数に対する賞与を支給した事業所の全常用労働者数(当該事業所で賞与の支給を受けていない労働者も含む)の割合です。
- 「平均支給率(支給月数)」とは、賞与を支給した事業所における賞与の所定内給与に対する割合(支給月数)の平均です。